

会 議 録

1 会議名

令和5年度第4回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○諮問事項

- ・上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について（公開）

○協議事項

- ・意見交換会の結果について（公開）
- ・委員研修について（公開）

3 開催日時

令和5年7月27日（木）午後6時00分から午後7時40分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

4 人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、
植木節子、山本茂、下鳥治、田中睦夫、庄山健、秋山秀夫、吉田重夫、
長藤豊（1人欠席）
- ・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、小林次長、内藤次長、関根産業グループ長、清水教育・文化グループ長、市村市民生活・福祉グループ長、高橋建設グループ長、小池地域振興班長、橋詰主査（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【内藤次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・会議録の確認を植木委員に依頼。

4 諮問事項 上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について事務局からの説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料1に基づき説明

【平井会長】

ただいま、事務局から説明があった。「諮問第129号 上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について」を審議する。ただ今の説明に対し質問のある方は挙手を求める。

【庄山委員】

質問でも何でも無いが、一点、私はこの間大潟のジムリーナに行ったら体操をされていて、責任者の人と話した。選手が来て練習をしてもらっているのだが、宿泊施設が近くにないという。海岸の方にたくさん旅館があるのではと話したが、旅館のオーナーが長野県の人が多くなっていて、そういうところの旅館は泊めてくれないという。料金的にも安くなっているのではないかと思うが。そんな関係もあって断っているのかなという気がしているのだが。市として何かうまい方法は無いのかなと思っている。責任者の方は困っている状況だった。何かの機会があれば、そのようなことがあると話して貰えばいいかなと思っている。

【平井会長】

他にないか。

【小林委員】

確認だが、文言の整合を図ったということは理解できるが、法律上過疎法に係ることで板倉区に影響はないということでよいか。

【小池地域振興班長】

板倉区に個別に影響のある事業はない。

【平井会長】

他にないか。

【長藤委員】

内容にどうこうという話ではないが、新旧対照表の30ページに鳥獣被害関係のことが書いてある。3番目の文章について、新たにこういう文章になった。かつて板倉区の地域活動支援事業にこれに関連した提案があったが、私たちは認めなかった。そういった事例があったのに落としたということ、私たちは頭のすみに入れた方がいいのではないかという気がしたので、皆さん気にしていただければよいと思う。

【平井会長】

他に何かあるか。

(特になし)

それでは「諮問第129号 上越市過疎地域持続的発展計画変更(案)について」地域住民の生活に支障はないものと認め、答申してよいか。賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

地域住民の生活に支障はないものと認め答申する。答申書の確認については、私と副会長に一任いただいていいか。

(異議なし)

最終的な答申書は、私と副会長で確認させていただく。

以上で諮問事項上越市過疎地域持続的発展計画変更(案)については終わりとする。

次に5協議事項 意見交換会の結果について事務局からの説明を求める。

【小池地域振興班長】

・資料2に基づき説明。

【平井会長】

今ほど事務局から説明があった。事務局からまとめてもらったが、各地区の記

録係から報告をお願いする。まず寺野地区については6月18日に実施された。
田中委員をお願いする。

【田中委員】

寺野地区はここにあるように合計で33名出席され意見交換を行った。私は昨年寺野地区の意見交換会に参加させてもらったが、人数的にはほぼ同数であったと思うし、特に目新しいものはなかったが、この中ではやすらぎ荘の問題が必ず出てきて、農繁期の時は非常に厳しいけれども、その他の時はイベントを開催するなど協力していきたいといった前向きな意見があった。それからシニアパスポートについて70歳以上がもらっているが、草刈り等で汗をかいたときにやすらぎ荘で風呂に入るとさっぱりするし、そのような人にも利用してもらえよう、利用者の年齢を65歳に引き下げれば使い勝手がいいのではないかという意見が出た。板倉だけでの問題ではないと思うがそういったものが出た。それから、コロナの関係も下火になっているので、今年は4年ぶりにやすらぎ荘の駐車場で盆踊りをやるということである。花火の打ち上げもやりたいという事であった。あと、やすらぎ荘で食事をすると、物価高の影響もあり高くなってしまおうという意見があり、具体的にどの程度というのとは分からないが、他と比べてもそこまで安くないので家族連れで行くとやはり回数を制限せざるを得ないのかなということ聞いていた。最後に旧寺野小学校のプール脇の更衣室が古くなって危なく撤去できないかという話があった。行政で対応していただく格好になるのかなと思うが、大まかには以上である。

【平井会長】

続いて、6月23日の筒方地区の報告を長藤委員からお願いする。

【長藤委員】

筒方地区は6集落の町内会長と農家長の計12人と意見交換を行った。特に草刈の件を指摘する意見がたくさんあり、危険だというところがたくさんあったが、その話のせい、タイミングが合致したのかもしれないが、その後急激に草刈が進んだ。それから冬期間のバスの運行の話がここに出ているが、市営バスは下関田から入ってきて筒方の方に動く経路になっているが、冬は筒方地区でどうしても道が狭く通行できないということで、下関田から大橋を通過して栗沢の方に

流れるという動きになるので、下筒方のバス停が今の集落センターでなく、集落の下に移動する。そこを利用しようとするときに歩く距離が長くなって大変だという話が出ていた。利用者の人数からしたら、もう少し小さなバスにという話もあるが、スクールバスということ考えると、走る経路が長いのでそこに乗る小中学生の数は通常のマイクロバスでは足りない人数となる。中山間地だけで見るとなぜこのような大きいバスがという話になるが、宮島地区や山部地区などその辺まで考えるとその大きさが必要になる。それが冬通れなくなるということについてはこれから考えなくてはならないのかなと思っている。後期公共交通計画案の中では令和7年度からコミュニティバスの運行が開始されるという話もあったので、その状態になったときには改善されるのではないかと思っている。光ヶ原の関係で、かつてそこで働いていた方あるいは管理人とかをされていた方の話として、今の状態は納得いかないという話があったり、ゑしんの里観光公社の関係で、上下関田と筒方はそこに出資している。その関係で、その理事を務めた方から、施設利用に対して工夫が足りないという話があった。私は今年度理事になったのでその辺の意見も重要視して対応していきたいと思う。

【平井会長】

続いて、6月27日の針地区について下鳥委員にお願いする。

【下鳥委員】

総じて言えることは、区内50町内会の末端と行政の大きな温度差を感じた。その辺のところは大きな課題となってくるのではないか。針地区より出た意見は記載のとおりであるが、針町内会としては転入者が多いのだが、町内会活動等そういったものの加入に関していかなものだろうか反発の声が出てきている。そういったものが非常に頭が痛いという意見が出ていた。期成同盟会、道路、河川、砂防それぞれの同盟会と連携がうまくいっていないケースがあるように見受けられる。ざっと見ても、11ケースぐらいあるように感じる。次期町内会長への申し送り事項が課題なのかなと感じている。最後に聞いてもらったり、聞かせてもらったりの意見交換会は各町内会長としては話ができるので、安心材料の一つのツールとして大切だと感じた。これからも意見交換会を続けて50町内会長の意見をそれぞれ吸い上げていってもらえたらと思う。

【平井会長】

続いて、7月1日の宮島地区について庄山委員にお願いする。

【庄山委員】

地域独自の予算について、もう少し周知徹底が足りないのをごをお願いするという意見があった。先ほども出たが、スクールバスが大きすぎるので、小型の導入についての話も合った。旧宮嶋小学校の利活用について、アンケートを取ったが、その後具体的には何も出ていないといった意見があった。その他、バス停の除雪、狹隘市道の除雪あるいは消火栓の使用についていい方法がないのか、消火栓については糸魚川で消防団のOBが使えるとか女性が使える消火栓になっているので考えてもらいたいということであった。あと、観光ということでやすらぎ荘、ゑしんの里についてももう少し地元の商店街とコラボできないかということであった。空き家の問題も出ていて、うまく処理できるようなかたちで進めてもらいたいということであった。

【平井会長】

続いて、7月14日豊原地区について山本委員にお願いする。

【山本委員】

まとめてここに書いていただいていることでほとんどであるが、所謂交通インフラ、住環境のインフラの整備を進めていただいている後継ぎが通勤に困って他所に行ってしまうようなようにしてもらいたいということが出ていた。ここにはない話だが、地域に限られるかもしれないが、年齢構成にバラつきがあって役員等の選出について低年齢化が起こってきているので何とか対策を考えなければという話があった。

【平井会長】

7月15日の山部地区について、小林委員にお願いする。

【小林委員】

山部地区連絡協議会から18名参加いただき意見交換を行った。個人的な意見として、活発に意見交換できたのではないかと思った。関心の高さ、あるいは課題共有の面で良かったのではないかと思う。要約した内容については記載のとおりだが、一部の課題についてももう少し行政と関係する町内会が真摯に向き合って

対応して欲しいと思ったし、今回意見交換の中で出た課題等については、今後地域協議会として取り上げてもいいのではないかとヒントがあったと思う。4点について私の方から話をさせていただく。まず記載の箕冠山の関係だが、箕冠山の標柱、看板整備について、この時に連絡協議会の会長から別紙で取り上げられた。これは昨年も取り上げているということで、箕冠山の山頂の付近の上越市の城址公園のエリア、そして看板等については地域活動支援事業でやってきた看板でもあるので、その辺の整備、課題等についてしっかりと対応していたのか、きちんと市から説明されたと思うが、受ける方が町内会役員交代等で引き継ぎあるいは理解不足というか、勉強不足ではないかと私は思う。2点目は7月13日の集中豪雨の対応の関係で山部地区でも冠水や陥没、多少の土砂崩れがあったが復旧へのお願い、それに関連して指定避難所となっている旧山部小学校の問題も取り上げられた。たまたま運が良かったのか避難者がいなかったのだが、水道が使えないとかトイレが使えないといった状況であったという事であったが、事前に6月末に各避難所ごとに市の職員が来て備品などの説明はあったが、ハード面について横の連携が取れていないのではないかなという感じがした。これについては今後の共有化とともに早期の対応をすべきだと思う。3点目はどの集落もそうだが、町内会の維持運営についてほぼ限界に近付いているということで、共有地の草刈とか雪下ろしもそうだが、行事もできていないということで、これについては早急なこれからの支援体制、お金だけでなくどういう支援体制ができるのかというのが、根本的に考えていかなければいけない課題ではないかと思う。最後の1点としては、町内会長のほかに各町内会から出席された方がおりいろいろな意見があったが、町内会の運営に対して共有不足が感じられた。やはり、人材育成の面で苦勞をされていると思うし、その辺をもっと我々町内会としても高めていかなければいけない課題だと思った。全体を通して、意見交換は非常に素晴らしいと思うが、いろいろな意見が出て課題も把握できてよかったと思うが、進め方、やり方等については来年考え直した方がいいのではないかな。どちらかというとハード面の整備が多くて、ソフト面も含めてこれからの高齢化社会に向けて板倉区がどうあるべきかをもっと話を進めて意見をいただいた方がいいのではないかな。

【平井会長】

各地区から報告いただいたが、全体をとおして地域協議会として市へ意見を伝えたり、自主的審議をすべき内容について、皆さんから意見を聞きたいと思う。なお、現在、板倉区地域協議会の自主的審議事項は3つある。一つは地域振興部会が担当する「板倉区の各種団体が連携した地域活性化について」と、全体で取り組むこととした「板倉区の未来を拓く観光について」と「廃校した小学校の維持管理と利活用について」がある。

このうち、「板倉区の未来を拓く観光について」は、今回の意見交換会で審議した内容について発表し、やすらぎ荘やゑしんの里記念館の利用を呼びかけたので、一つの区切りになったかと思う。そのため、このテーマについては審議を休止し、残った「廃校の管理と利活用について」に取り組むほか、地域振興部会のテーマについては、地域振興部会で検討していただきたいと思う。

意見交換会の結果をふまえて、地域協議会が新たに取り組むべきことなど、皆さんの意見をお聞きしたいので、順番に一人1～2分で発言してほしい。

【池田委員】

去年も意見交換して、また今回意見を出してもらったが、あんまりどうなのかなと思った。

【小林委員】

先ほども報告の中で申し上げたが、取り上げるべきこととしては、限界に近い集落が増えてきたということで、これから公的な部分もあるだろうが、我々としてどのような仕組み作りをしていったらいいのか、その辺をすぐには答えが出ないかもしれないが、時間を掛けて検討して、そこから課題を抽出して検討して行くべきではないかと思う。

【植木委員】

火災報知器が大事で、皆さんのお宅火災報知器がしっかりと付いているかどうかと思った。正直、若い子とか年代によって違うと思うが、市の方で火災報知器がしっかりと付いていますかとか町内会で調べるくらいのかたちにして、消火器を玄関に必ず1台入れてくださいと、町内会館にもそうなのだが、何かあったらすぐにそれを持っていくというようにしたらよい。消火栓を使った練習はご近所

が水が困るといふくらい汚くなるらしいので無理である。各戸に期限切れの消火器の確認のチラシを入れて欲しい。それから、各戸にきちんとあるか、町内会館に3本くらいあるか、何かあったらそこへ行けばあるよと、お年寄りには補助金を出してあげないと可哀想ではあるが、リフォームしないと火災報知器があるかどうかは確認ができない、今の実情では、そのようなかたちにした方が安心して暮らせるのかなと思った。

【山本委員】

自主的審議のテーマである廃校になった小学校の利活用について、これが大きい課題なのではないかと改めて内容を見ると感じられる。旧筒方小学校はすでにいろいろなかたちで利用されているし、旧宮嶋小学校もスポーツ関係でいろいろ使われているようで、旧山部小学校もクライミングの団体で使いたいという相談があると聞いた。旧寺野小学校は何も利活用について話がなかったように思うが、あるところで個人的に話をしていたら、涼しくていい場所なので合宿所かどうかという話をしていた方がいた。前に、妙高市平丸の方で東京の有名な音楽大学の方が合宿に来ていて太鼓の曲を何曲か作ってもらって活用していたことも知り合いから聞いたので、今後旧寺野小学校も含めて有効に活用できるように話を詰めていったらいいのではないかと思う。

【古川副会長】

今回は非常に人数が多かったと聞いているし、実際もそうであった。残念なのが、針地区が少なかった。中身だが、行政の方も出ているので当然そういった話題も出る。それはそれなりに受け止めて、ただ司会の進め方もあるだろうが、今後どうやっていくか、そういう問題になる。会長からも話があったが、もう少し絞って進めていったらどうかと思う。私の集落で先般大水が出た。役員で集まって別所から長塚まで回ってきた。非常に大雨で、石がゴロゴロ流れている。そのような状況の中、我々集落は何をすべきか。実際に塞がった場合はどうなるかと、今までであれば年1回総会で済ませてきた。それをやめて途中で常会を開くのはどうだろうかという話をさせてもらい、先般中間の総会を行った。残念だが意見としてはあまり出なかった。まず集まることから始めようというところを作ろうということでもとめた。それぞれの地域で毎年役が変わるので、どうして

もそれを追っていくようなかたちになる。そうではなく、常日頃からそういうことを考えていく、そういうのを地域の中で話し合っていくと思っているので、そこら辺も加味しながら今後の地域協議会どういう方向で進めるかということも含めて意見をもらいたい。

【下鳥委員】

あくまで私の勝手な考え方だが、地域活性化についてはコロナが少しずつ収まってきて、針の町内会としてもお祭りを規模縮小して実行したいという事であった。可能かどうかは分からないが、区内いろいろなところで立派な祭りがあるわけだが、大民謡流しは今回は中止になったわけだが、みんなで寄って針の中心地をいっぱいにして賑わっていただけたらいいのかなと思っている。旧小学校の利活用だが、旧宮嶋小学校は公文書館はどうか。非常に眺めがいいところなので、公文書館を併設しながらの図書館があってもいいのかなと考えている。

【田中委員】

廃校の小学校の活用については非常にいいことであるし、地元の方達からも意見が出ているので、それを十分反映できるようなかたちで利活用できればと私も考えているので、その辺については精力的に取り組むのはいいことだと思う。副会長からも話が出たが、針地区の意見交換会の中の最後に平井会長が話をされたが、出席人数が少ないという話をされた。針地区の場合は、ここにいる小林委員と山本委員が地域協議会の立場で出ているので、町内会の方からは人数的に参加の方に入らなかった。2町内会長は所用により参加できず欠席ということだったので、町内会の参加者としては非常に少ないという事であったが、それについて後から2人の町内会長から言われたが、案内の仕方は針校区は町内会長を対象とする内容だった。最低このくらいの人を集めたいという事であればそういう文章にすればいいが、各町内会長はそのように把握していなかった。それについて平井会長が人数が少なくて残念だという話をしたので憤慨していた。来年に向けてもこの辺について考えてやらないと各町内会から反発を招くことがあるので、お願いの仕方については考える必要があると思う。

【庄山委員】

去年もそうであったが、今年も町内会から要望をいろいろと出してもらってあ

りがたいとは思いますが、例えばバス停の除雪をしてもらいたいとか、狭隘道路の除雪がなんとかならないかとか、そういうこまごまとしたものは町内で何とかできないのかなと私自身は思っている。何でもかんでも行政へお願い、やってくれと、私たちは税金を払っているのではという考え方、それを脱却しないとだめだと思っている。行政もそんなにできるとは思っていない。パンクしてしまう。やはり、地元ではここまで頑張ったんだと、ここから先は行政の方で何とか力を貸してくれという考えにならないか。

【秋山委員】

豊原地区の意見交換会の時に、おとなしい人が多くなかなか意見が出なかったが、要望集会にならないようにという思いと、テーマである町内会の活性化のために行っていることと、安心安全にかかわることで何か課題はないかということで聞いたが、その中で町内会の活性化のために行っていることはないが、安心安全面では今消火栓は一般の人は使ってはいけないということについて、いくつか意見が出てきた。桜ヶ丘の方では、班長の玄関の前に消火器を置くことにした。ただ、桜ヶ丘の場合は班が大きくそれでは足りないので今検討しているという事であった。今までの方向だといろいろな地域性がある話が出てきているが、板倉区全体として消火栓の話になるが、来年はテーマを決めて案内を出すのもいいのではないか。

【吉田委員】

意見交換会でいろいろな視点から意見や要望を出してもらっている。それぞれ項目を見させていただき、気づきになる部分もあるし、参考になる部分もかなりある。私が思うのが、地域の高齢化が進んできて、山部の方の意見では昔の孤立の分校の敷地の草刈や屋根の除雪をずっとやってきているが、今は65歳70歳の人が高い屋根に上がってやっている。非常にリスクがあるし、そういうところを解消できるような仕組みができないかなと。それと市道の草刈も一部町内会でやっているのでは、そこもうちの地域では道普請で草刈りをやるといっても電動の三輪車に乗ってくるおばあちゃんも頭数に入っている。かなり限界にきているので、うちばかりでなく他の地域も同じ状況になると思うので、その辺を何か仕組みを作れないかなと思っている。

【長藤委員】

去年今年と、二年間連続で寺野、筒方の意見交換会に参加した。今年も思ったが、皆さんからいろいろな意見が出てくるが、気にしているのはこの交換会に出てこられた方の個人的な感想というか話がほとんどのような気がしている。こういったことをやりたいということを事務局から提案があつて集まっているが、その前に事前に各集落でこういう話が来ているが皆さんどうですかという意見を拾い上げる機会が設けられる期間がなかったのではないか、結局その場に来られた方の個人的な意見の感じがする。来年度以降も続けるべきだと思うが、期間に余裕を持って事前に各集落ごとに各戸の皆さんからの意見も吸い上げるかたちを取れたらいいのではないか。自主的審議事項関係では、私が属している部会ではいろいろな団体と連携してという話で進んでいるが、実際には各関連団体と1回だけ話をした段階で止まっているという実情であるが、今後早めに2度目の打ち合わせに機会を持って、その際はお聞きするだけでなく、こちら側としてどういったことを考えているとかそういったことを言えるような状態で、なるべく早く進めるかたちをとりたいと思っているので、追って会長副会長とも相談しながら進めたいと思っている。

【平井会長】

では、今ほど全員から意見を聞いたが、地域協議会として新たに自主的審議をすべき内容について今ほど出た意見を事務局の方でまとめてもらいたい。次回の会議で今後どのように取り組んでいくか話し合いたいと思う。

なお、「板倉区の未来を拓く観光について」は審議を休止し、「廃校した小学校の維持管理と利活用について」を次回から取り組むこととしてよいか。

(異議なし)

では、そのようにする。

次に「委員研修について」事務局から説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料3に基づき説明

【平井会長】

事務局から説明があつたが、質問、意見のある方は挙手を求める。

【長藤委員】

最初の総合事務所長からの挨拶の中で、今回の大雨による災害の話があったが、その現場がどんな場所で今後その現場でどのようなことが考えられるか、あるいはその対策が考えられるかどうか、我々も少し考えたほうがいいのか、そういったところを見るのを少し考えた方がいいのではないか。

【平井会長】

具体的なものはあるのか。

【長藤委員】

今回崩れて市道が塞がったとか、先ほどの話で浸水した場所とか、用水関係で壊れたとか、相当の件数があったと総合事務所長が言われていたので、その中でこの中で見た方がいいというのは一覧を見れば出てくると思うので、その一覧を見たらうえで検討したらいいと思う。

【平井会長】

今ほど事務局から説明があったが、糸魚川と具体的な案があったが、今の長藤委員の意見は板倉区ということか。

【古澤総合事務所長】

補足説明させていただく。先ほど私の挨拶の中で、県道市道等の被害の状況を話させていただいたが、今回短時間で一気に降った雨なので、大きな災害、道路関係については路肩が落ちたりとか山側が崩れたりとか、あと土砂が流れて道路を塞いだりとか、早期に対応し通行止め解除できるそういう現場がほとんどである。農地については、田んぼの畦が崩れたりとかそういった農業用施設の水路が崩れたりとか、そういうものについても小規模災害復旧事業ですぐに対応する予定であるし、長藤委員がおっしゃることも分かるがそういうのであれば8月8日に板倉区の道路河川砂防の期成同盟会がある。その期成同盟会で各地区から出させていただいたものに対して、関係機関で現場を回って検討会を行うので、仮に板倉区内で見ると行くことであれば期成同盟会で出た場所を確認するというのは考えられるかもしれないが、被害の状況としてはそういう状況であることを理解いただきたい。

【平井会長】

今ほど事務局から糸魚川、長藤委員から区内の視察研修という提案があったがそのほかはないか。

【庄山委員】

小学校の利活用を審議しなければいけないので、廃校の利活用を視察してもいいのではないか。

【平井会長】

それは市外か。具体的に場所はあるか。

【庄山委員】

資料3を見ると令和元年度に三条市にもものづくり学校ということで利活用の視察に行っている。このようなところがあれば。

【平井会長】

そのほかにあるか。

【植木委員】

会長はその時行っているのではないか。

【平井会長】

当時行ってきたが、上越市の高田直江津の旧市内のようなところにあった。板倉区のような離れたところの廃校ではない。個人的にはあまり参考にならなかった。当然廃校を利用しているので、それなりのメリットはあるし、三条市が後押しし、ものづくり学校とっていくつかの部屋を作った。

事務局で糸魚川という提案があった。糸魚川も廃校があるのではないか。その辺を合わせて行って見てもいいのではないか。

【小池地域振興班長】

まだ調べてないが、糸魚川という事であれば半日ではなく1日ということにさせてもらい、これから調べて近くで適当なところがあれば寄ることはできる。

【平井会長】

その他にないか。

【吉田委員】

事務局に質問だが、糸魚川の使いやすい消火栓は見てみたいが、それがいいなとなった場合に具体的に導入というのは出来そうなのか。地域独自の予算や要望

書を出すとかそういうことか。

【小池地域振興班長】

皆さんで協議されて地域協議会として何か行動が出来ればそうされればいいし、消火栓の問題はほかの区でも地域の課題としているところだと思うので、板倉区で話し合うのはいいと思っている。

【平井会長】

先ほど植木委員の話の中で廃校の話があったが、過去に村上市の奥の山形県境の廃校も見に行っている。ここはどぶろくを作っているところである。それと食堂をやっている。小さな学校なのでそこまで教室はなかったが、そういうところで村上の奥と三条の2か所に行っている。

そのほかにないか。なければ決めさせてもらう。3つある。事務局の案、長藤委員の案、小学校の案。

決を採る。事務局の案がいいと思う方は挙手をお願いする。

(挙手多数)

決定する。糸魚川の方をお願いする。廃校活用もどうなのか、その辺も合わせて確認して欲しい。今年度の研修は糸魚川ということで事務局に案を作成してもらおうようお願いする。次回の会議で提示があると思う。

次に6その他に移る。事務局から何かあるか。

【古澤総合事務所長】

私の方から1点お願いする。5月18日に開催された地域協議会の中で、光ヶ原のヒルクライム検討会という話があった。この内容についてはオール板倉で取り組んでいくという話があった中で検討会を設立してやったらどうかという話で、会長、副会長、3部会の会長の皆さんと総合事務所の職員で6月27日に第1回の検討会を開催した。その内容としては、イベントの概要とか実行委員会組織の立ち上げの関係とかあくまで案の段階だが説明させていただいた。現状としては内容を精査し、関係機関と連携、説明しながら進めていきたいと考えていて、今後8月上旬に第2回の検討会を開きたいと考えていて、具体的な内容について説明したいと考えている。合わせて、資料の中に「光ヶ原高原で思い出づくりをしよう」というイベントが8月26日に光ヶ原高原ファンクラブが主催とな

って計画されている。このイベントが10時から光ヶ原高原を会場にして、バギー体験等いろいろな体験ができるようになっている。また、テントサウナやキッチンカーの出店等がある。町時代につくった施設については使えない状態となっているが、地域の農業者の方、また地域外の農業者の方が畑を開墾し高原野菜や蕎麦、景観作物を栽培している状況なので、また違った面から光ヶ原高原をもう一度再生しようという取り組みが行われている。今回ヒルクライムの試走会を計画していて、今20人くらいの人から出ていただいてコースを走って、いろいろな意見をいただいて来年の大会に繋げていきたいと思っている。その試走をやることによってまた再度来年度こんな大会があるのだという、自転車をやっている方に事前にPR出来るし、いろいろな発信になっていくと考えているので、この光ヶ原のイベントと連携しながら進めていきたいと思っている。また、内容についてこの場で説明できることが決まったら具体的に説明させてもらいたいし、また実行委員会とか来年度の地域独自予算に繋がる取り組みと想定しているので正式に説明したい。今日はその他の報告というかたちでお願いしたい。

【平井会長】

質問、意見のある方は挙手を求める。

【田中委員】

来年からヒルクライムを本格的にやろうとした場合に、日程的にはこの辺の日程になるのか。というのも針の祭の日でありこの日はずっと変わらない。できたら来年は次の日の日曜なり、前の週にずらしていただけると助かる。親子の参加も含めると夏休み中などいろいろと条件はあるが、できれば日をずらす方向で、町内会の中でも話が出ているので配慮願う。

【古澤総合事務所長】

来年度は7月の第3週を予定している。というのはこういったイベントと重なるとなると、地元の方の対応が大変になると思っていて、大変なことをやるとなると続かないので、私としてはずっと続けていく大会としたいので、地域のイベントを避けるかたちでやりたいと思っているし、ヒルクライムの大会が隔週開催されている合間を縫うと、7月の第3週というのが今開いているのでそこを目指して検討している。

【平井会長】

他にないか。

- ・ 次回の地域協議会の日程について確認。

【古川副会長】

- ・ 挨拶

【内藤次長】

以上で、第4回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：0255-78-2141（内線123）

MAIL：itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。